

ママ、ぼくは「な椰由汰」っていう名前が
 大好きだよ。だいす かつこいいもんね。
 でも最近さいきんは、少すこしだけ「しょうへい翔平」も
 かつこいいなおもって思うよ。
 だって、憧あこがれの大谷選手おおたにせんしゅだから。
 ピッチャーでホームランを沢山たくさん打つのが、
 ぼくの夢ゆめだよ。

川田 かわだ
 椰由汰 なゆた
 (小1
 金沢市)

しんぞうびょう心臓病で生まれた椰由汰。

しんぼくご神木の椰なぎの木から、神かみのご加護かごがあり、
かぞ数えられない無限むげんの可能性かのうせいがありますようにと

いの祈りを込こめた名前。

いま今では、病氣びょうきが治なおり、野球やきゅうが大好きな椰由汰。

ママは、貴方あなたの夢を精一杯せいいつぱい、

おうえん応援してよ。

川田 かわだ
 陽子 ようこ
 (母)

チラシの切れ端^{はし}に書いてあった

「ままいつもあり」の文字。

「がとう」を書くスペースがなくて

そのまま放置^{ほうち}されていたあのチラシ。

ひびきが初めて^{はじ}書いてくれた手紙^{てがみ}。

そっとお財布^{さいふ}の中にしまったんだ。

一生の宝物^{たからもの}なの。

多々見
葉奈^{かんな}
(母)

ちらしのおてがみ、

みつけてくれてうれしいよ。

すてないでおさいふに

しまっていたのしらなかったよ。

じょうずにかけなくて

あきらめたおてがみなのに、

ままのたからものにしてくれて

ありがとう。

多々見
陽輝^{ひびき}
(小1) かほく市

おじいちゃん

いつもさん歩ぽにつれて行っていくれてありがとう。

おじいちゃんがいつもいっしょに

さん歩につれて行っていくれていたのに、

さいきん行けていないけど

こしがなおったら

またいっしょに行こうね。大好きだいすだよ。

梶谷かばや 知里ちさと
(小2 小松市)

よく二人でさん歩に行ったね。

さん歩に行く前まえにさん歩コースの

地図ちずを作つくってくれたね。

その地図の中におじぞうさんがあり

「ジイジのこしがなおるように」と

お願いねがしてくれてありがとう。

こしなおったら、また、さん歩しよう。

加藤かとう 博臣ひろのぶ
(祖父)

さらあらいしている手は、

ガサガサだね。

でもみんなのためにがんばっている手だね。

ありがとう。

これからは、すこしだけ、おてつだいするね。

そしたらガサガサは、はんぶんぶんこできるね。

ママいつもありがとう。大きい。

梅田 美鈴うめだ みすず
(小2 珠洲市)

ごめんね。

ガサガサでチクチクしているね。

でもこの手は頑張がんばった証あかしなの。

我慢じまんできる手だよ。ママは大丈夫だいじょうぶ。

ガサガサになった分だけ、あなたたちが

その分幸しあわせになるだけ。元気げんきに大きく育そだってね。

大好きだいすだよ美鈴。

梅田 ひろ子ひろこ
(母)

わたしが一番とく意なお手伝い知ってる？
それは味見だよ。

「いつもおいしいしか言わないんだから」

とママは言うけど、

今は勉強中だから、よく分からないんだ。

漢字や計算といっしょで

くり返しが大切だよ。

瀧田 彩羽（小4 白山市）

「味見お願い」

と言うと飛んで来る彩羽。

お母さんも「おいしい」と言わせたくて

勉強して味付けのレパートリーを

増やしてるんだよ。

それが母の味として記憶に残って、大人になったときに

思い出してくれるとうれしいな。

瀧田 康子（母）

「環たまきが思おもっているほど、

お母かみさんは、完かんぺきじゃないよ。」
前まえにお母かみさんそう言いってたよね。

けど、一生いっしょうけんめい、

わたしをそだててくれたお母かみさんを、
わたしは、とてもほこらしく思うよ。

めいわくかけ係がかりより

松村まつむら 環たまき
(小4 津幡町)

「大丈夫だいじょうぶだよ。」

「そんな時ときもあるよ。」

と笑わらいながら言いってくれる環たまきは、

お母かみさんのダメな所ところを受うけいれてくれる最高さいこうの娘むすめです。

たまにでる大人おとなびた誰だれ目線めせん？

と思ことばう言葉ことばもかわいいよ。

毎日まいにち楽しませてくれてありがとう。

松村まつむら 恵めぐみ
(母)

小さい頃から身長がなかなか伸びず

小さいめいちゃん。

身長が低くても勉強や運動を

一生けん命がんばっている姿がとても大きく見えます。

心もやさしいめいちゃん。

少しずつ大きくなっていく

めいちゃんが楽しみです。

小池 奈津子（母）

わたしは、みんなより体が小さくて

友だちにチビッコと言われても、

気にしないよ。

だから体が小さくても、いっしょうけんめい

勉強や運動など出きることを

さいごまでがんばるよ。

それからごはんもたくさんたべるね。

小池 芽依（小4 内灘町）

夜中に仕事から帰って来ると
真っ暗な中で一人で寝ている柚乃。
寝ているのに「ただいま」と
声をかけると必ず「おかえり」と
返事してくれるね。
せつかく夢を見て寝ているのに
起こしちゃってごめんね。

南 恵子（母）

ママ、あやまらないで。
ねているよ。
なぜかママの声だけ聞こえるんだよね。
なんでだろうふしぎ。
きつとママの声を聞きたいんだよ。
ゆめよりもママの声の方がいいよ。
もったいいゆめ見れるよ。これからも声かけてね。

南 柚乃（小4 かほく市）

一つ、へんな心配しんぱいするな！

二つ、注意ちゅういをたくさんするな！

三つ、ずっとかまってくるな！

今いま私わたしは思春期ししゅんきです。

言いいたくないこともあります。

でも全部ぜんぶやさしさしで知しってるよ。

でも一人ひとりの時間じかんもほしいかな。

村井むらい
心結みゆ（小6
小松市）

一つ、心配症はやくせうの母卒業！

二つ、口うるさい母卒業！

三つ、いつまでも子供扱いこどもあつかの母卒業！

思春期はんこう、反抗期はんかうは親おやの子離れこばなの

練習れんしゅうの時ときなのかもしれない。

困こまった時ときや辛い時つらは

いつでも甘あまえてきてね。

村井
茜あかね（母）

この前「魚の三枚おろしやってみたい」って
言った時挑戦させてくれてありがとう。

お母さんが分かりやすく教えてくれたおかげで
出来るようになったよ。

魚さばくの楽しい。

自信ついたし

これから魚は俺に任せて！

豊田 蒼（小6 宝達志水町）

正直、三枚おろしは

難しいから蒼にはまだ早いって思ったけど、
チャレンジさせてよかった。

大人が子どもの限界を決めつけたらダメやね。
一生懸命な姿、楽しんでさばいとる姿見て
嬉しかったよ。

これから魚頼むよー！

豊田 祐子（母）

いつも家事かじをしてくれてありがとう。

昔むかしは、あたりまえだと思おもっていたけど、

今いま、思おもうと、

とても大変たいへんなことをしてくれているんだな

と思おもいしらされました。

これからは、子どもにもたよっていいんだよ！

またよろしく。

山崎やまざき 稜生りょうせい（小6 輪島市）

「かあちゃん」と呼よばれる時ときは

何かなにしろのお願ねがいだった日々ひび。それが少すこしずつ

「これやっとくね。」

「何かすることある？」

と言ことば葉かに変わかわり私わたしの方ほうから

お願ねがいする事ことが増ふえてきました。

これから頼たよりにしています!!

山崎 志保しほ（母）

「お母さん絶対に迎えに行くから」
まだ幼かった頃にいた約束。

先日、震度6強の地震があった時、

ばあちゃんの中を押し、一緒に避難してくれたね。

約束を覚えていた事、

ばあちゃんと自分を守った事。

本当に有難う!!

今井 麻紀子(母)

正直その約束は忘れてた。

あの時は、TVで見た東日本大震災の映像が頭にうかんで

「逃げなきゃ」

そういう気持ちで、

ばあちゃんと必死にひなんしたんだ。

でももう大丈夫。

だから絶対に迎えに来てね、お母さん。

今井 瑛次(小6 珠洲市)

朝にけんかをしてしまった時でも、

「いってきます。」

「いってらっしゃい。」

の言葉で今日も頑張ろうと思えるよ。

うまくいかない日の夜

「おやすみ」は心が楽になるよ。

毎日ありがとう。これからも言葉を大切にしようね。

山口 翔大（中1） 野々市市

喧嘩した朝も、嫌なことがあった夜も

必ず挨拶はしようねと約束したよね。

この手紙を読んで、面倒くさそうに言う

「いってきます」や

無愛想な「おやすみ」が

愛おしく感じて涙が出たよ。

こちらこそ毎日ありがとう。

山口 真由美（母）

ママとつぜんだけど、

私わたしって文章ぶんしょうより短歌たんか好きじゃん？

だから短歌で思おもいを伝つたえるね。

ここで一首いっしゅ

母ははいない 休日きゅうじつ気づく 忙いそがしさ

言いえない本心ほんしん 「無理むりしないでね」

…どう？上手うまくない？

土一どいち のぞみ(中2) 宝達志水町

短歌、上手いね！

それではママからお返事へんじを。

「腕うでのあざ 部活ぶかつの努力どりよく 物語ものがたる

頑張がんばる君きみを 応援おうえんしたい」

忙しくて、

頑張がんばるのぞみを支さえる事ことが出来るできるのは

嬉しいうれいもんだよ。

土一 美希みき(母)

おふろあがってからお母さんに行く
すずしい夜の時間が大好きだよ。

いつも二人きりで話したり星を見たりするのが、

一日の終わりに感じてくれるね。

「明日も頑張ろ。」って思えるよ。

いつもありがとう。

お母さん大好き。

山澤 有結（中2 志賀町）

どんな事があっても

あゆうと夜空を見上げて二人きりで

話をするあの時間は、

星が輝いていなくてもぬるい風でも

最高の時間だよ。

最近、時々邪魔をして混ざってくる

お父さんに笑えます。きつと羨ましいんだね。

山澤 鳴美（母）